



公明かすかべ



発行：公明党春日部市議会議員団 〒344-8577 埼玉県春日部市中央七丁目2番地1 Tel.048-736-1111 (代)

令和7年10月1日 春日部市合併 (旧春日部市と旧庄和町による) 市制施行20周年を迎えました!!



合併20周年 春日部市の主な歩み

- 2005.10.1 春日部市と庄和町が合併し新「春日部市」誕生
(当時の人口238,499人)
- 2006. 3 春日部市章の制定
- 2007. 2 春日部市の花「フジ」市の木「キリ」
市の鳥「ユリカモメ」が制定
- 2008.10 10月1日を「春日部市民の日」と制定
- 2010. 4 まちの案内人に「クレヨンしんちゃん」が採用
- 2015.10 春日部市の歌「心の空」が発表
- 2024. 1 春日部市役所新庁舎開庁
- 2025 春日部市市制施行20周年記念キャッチコピー
「かすかべ、あなたの好きが続くまち」

…春日部市トピックス…

① 春日部市都市公園条例を一部改正します

旧庁舎跡地に建設を予定する「(新)中央町第1公園」の整備において、都市公園法による公募設置管理(Park-PFI)制度の活用を進めます。



② 重度心身障害者医療費助成に関する条例を一部改正します

重度心身障害者医療費助成事業の受給資格の認定基準が埼玉県で改正され、春日部市でも令和8年4月1日から精神障害者保健福祉手帳2級所持者を受給資格者とする対象拡大がされます。

③ 春日部市立医療センターで「無痛分娩を」を開始します

春日部市立医療センターでは、麻酔を使用し、陣痛を緩和しながら分娩を行う「無痛分娩」を開始します。(無痛分娩加算料 1件につき120,000円)

※無痛分娩とは:麻酔などの手段を用いて陣痛を緩和しながら分娩を行うことの総称。



④ 給食費の支援を行います

国からの交付金を活用し学校給食費の支援としまして、令和7年12月、令和8年1月の2ヶ月分が無償となります。

春日部市議会で、はじめて 避難所開設訓練を実施しました!!

令和7年9月24日に、訓練を通して避難所開設や運営に関するスキルを身につける事を目的として、春日部市役所5階を利用して、避難所開設訓練を行いました。



春日部市役所5階を利用した、避難所開設訓練の様子

公明党春日部市議団 市議会一般質問要旨

あらき ひろみ 議員

防犯対策について

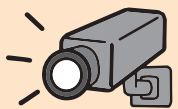
問 本市の犯罪状況について伺う。

答 令和2年から令和4年までは減少していたが令和5年、6年は増加傾向となっている。令和7年は前年に比べて自転車盗難が減少し侵入盗が増加傾向になっている。

問 本市では防犯カメラの設置補助事業を行っているが申請状況を伺う。

答 8月末現在で申請件数340件、交付決定額472万円です。

問 事務手続きが多すぎて大変との声を頂きました。もう少し簡素化して、来年度も設置補助を継続して頂きますよう要望します。



鈴木 かずとし 議員

児童館をもっと 楽しめる施設に

多くの子ども達から人気のエンゼルドームですが、近年の猛暑をかんがみ、夏休み期間中だけでも開館時間を9時からに早め入館手続きにつきましの電子化を要望しました。また噴水エリアですが猛暑で中止も多くなっていることから噴水エリアに日よけの設置も要望しました。市からは開館時間を早めることについては指定管理者と協議をしていく、入館手続きの電子化は導入すべきシステムの検討をおこない、噴水エリアの日よけについては来年度からの導入に向けて検討していくとの答弁がありました。



木村 けい一 議員

教育センター 再整備について

問 (仮称) かすかべひがし交流センターとして、誰もが利用できる観光機能がある施設として検討されている事は分かりましたが、①鏡があって自由にダンスする事ができる公共施設が少ない事から、鏡がある施設は作れないか？②Wi-Fi環境やバリアフリー化はどうなっているのか伺う。

答 ①ダンスができるよう鏡の設置も検討していきたい。
②Wi-Fi整備や、バリアフリーの施設として整備していこうと検討している。



藤原 ともこ 議員

学校図書館の 充実について

学校図書館の本市の現状は、複数校を兼務される支援員の方々が日々ご尽力くださっているものの、常に子ども達の相談に応じたり、授業との連携に十分時間を割いたりする事は難しいのではないかと。「1校に1人配置」という理想にむけて段階的な拡充を検討できないか質問しました。

これに対して「今後、適正な配置に努めていく」という答弁。

子ども達の未来に投資するという観点から、学校図書館の体制強化を引き続き求めてまいります。



中村 たかあき 議員

脊柱側弯症 対策について

「健康診断で背骨が曲がっていると指摘され、どうしたらよいか」と保護者の方から相談を頂きました。脊柱側弯症は思春期に多く見られ、突然の指摘に本人や家族は大きな不安を抱えます。だからこそ早期発見と適切な検査が受けやすい環境づくりが大切です。また、子どもたちの心の負担を減らす工夫も必要です。全国の一部地域では、服を着たまま検査できる「ローラー型検査機器」が導入され、身体と心のケアを両立させています。私は議会で、この新しい検査方法の導入について市長に伺いました。

市長は、「学校医等に、ご意見を伺いながら、教育委員会が適切に子どもたちの健康管理に努められるよう支えていきたい」と答弁がありました。



くりばら 信司 議員

※監査委員のため一般質問は
行っていません。

